

公益社団法人 おおさき青年会議所

2019年度 ミライノマチ育成委員会

委員長 小玉 仁志

1. 基本方針

地域の活力は経済の発展や郷土への誇り、人口や街並みなど様々な要素が絡み合い構成され、また左右されます。時代とともにその活力は規模や色が変わり、私たちの経済活動や生活環境にも影響していきます。一方で、社会は情報化が飛躍的に進み、人々が必要とする情報は、年齢問わず誰でも取得できる時代となりました。利便性が向上する反面、過程を踏まずに答えを得られることは両刃であることを我々も認識しておく必要があります。

まずは、おおさき地域の活力をさらに盛り上げ、持続的且つ効果的な郷土の発展につなげていくために、私たちが率先して情報を収集し、地域へ Impact のある指針を提示します。同時に市民とともに考える機会を創出し郷土の誇りと地域の実績となる事業を実施します。その経験は市民の自信となり、事業で創出された人々の輪が持続的に展開されることで地域に根差す運動へとその姿を成していきます。達成とともに得られる成果が地域の未来や世界に向けて、誇れる郷土の宝と夢を描くきっかけを我々が率先して行います。

そして、地域の未来を担う子供たちが逞しく成長し、郷土を愛することができる地域人となってもらうために、地域の魅力や活力となる現場と触れ合い、共に地域を考え、子供にとっての経験、地域にとっての活力につながる効果的な事業を提案実施いたします。将来子供たちが誇れる地域づくりと人々の成長は、継続的な地域での活動且つ先進的な情報を併せもつ我々こそ実現が可能です。地域を愛するきっかけを創出することで得られる Impact は、持続可能な地域での取り組みとなり、やがて誇りや郷土愛へと進化します。

私たちの活動が地域社会への運動として拡がる事をイメージし、人々へその想いと効果が伝わり、持続可能なまちづくり、人づくりへとその姿を成していきます。また、JAYCEEとして会員一人ひとりが自らの力を信じ、地域と向き合う機会と習慣を創出します。

2. 事業計画

(1) 地域の未来を創造する事業の実施

【目的】

持続的且つ効果的な郷土の発展

【手段・方法】

確かな情報に基づき、市民を巻き込んだ事業の実施

(2) 子どもたちへ Impact を与える事業の実施

【目的】

子どもたちが逞しく成長し、郷土を愛することができる地域人となってもらう

【手段・方法】

地域と子供の接点を創出し、参加者がともに考え実現できる事業の実施

(3) 花火大会実行委員会への参画

【目的】

おおさき花火大会の円滑な運営

【手段・方法】

おおさき花火大会実行委員会に参画する

(4) 会員拡大活動への参画

【目的】

会員を12名以上増やす

【手段・方法】

会員拡大担当者の選出

会員候補者の情報収集と報告

(5) 例会主管 (7月、10月)

【目的】

- ①持続的且つ効果的な郷土の発展
- ②子どもたちが逞しく成長し、郷土を愛することができる地域人となってもらふ

【手段・方法】

- ①確かな情報に基づき、市民を巻き込んだ事業の実施
- ②地域と子供の接点を創出し、参加者がともに考え実現できる事業の実施